

長野県

# 長野県稲荷山養護学校

- 建築主 / 長野県
- 所在地 / 〒387-0022 長野県千曲市野高場 1795
- 敷地面積 / 25,521㎡
- 建築面積 / 9,475㎡
- 延床面積 / 14,461㎡
- 構造・規模 / 木造(一部鉄筋コンクリート造) 2階建
- 施工期間 / 平成16年1月～平成19年3月

知的障害		
学部	児童生徒数	クラス数
小学部	36 (19)	13 (7)
中学部	28 (16)	9 (6)
高等部	62 (19)	13 (7)
合計	126	—

※平成23年5月現在  
※( )内は、重複障害学級の児童生徒数とクラス数(内数)

肢体不自由		
学部	児童生徒数	クラス数
小学部	67 (62)	26 (21)
中学部	30 (24)	11 (8)
高等部	33 (30)	12 (10)
合計	130	—

※平成23年5月現在  
※( )内は、重複障害学級の児童生徒数とクラス数(内数)

## 計画に見られる指針改訂のポイント

- 学習・生活空間の充実
- 企業等との連携による職業教育の充実等に資する空間の整備
- 環境面への配慮

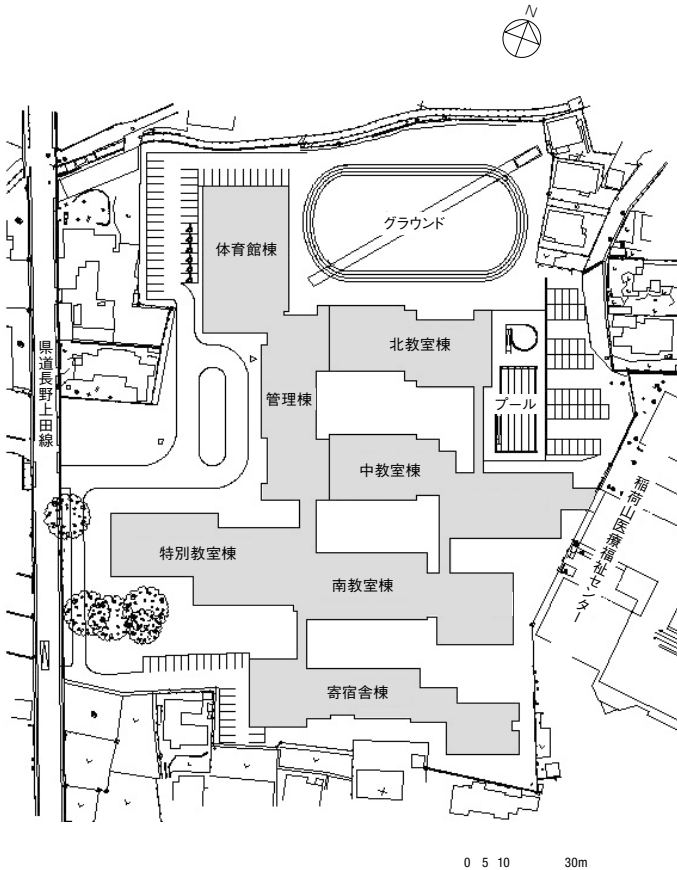
## 県産材を使用した 温もりあふれる木造の学び舎

障害のある児童生徒が、共に学び、互いに支え合う環境が作られている。県内産のカラマツをふだんに使用した木造の校舎には、児童生徒の声がこだまし、森の中を歩くような柔らかな足音が響く。

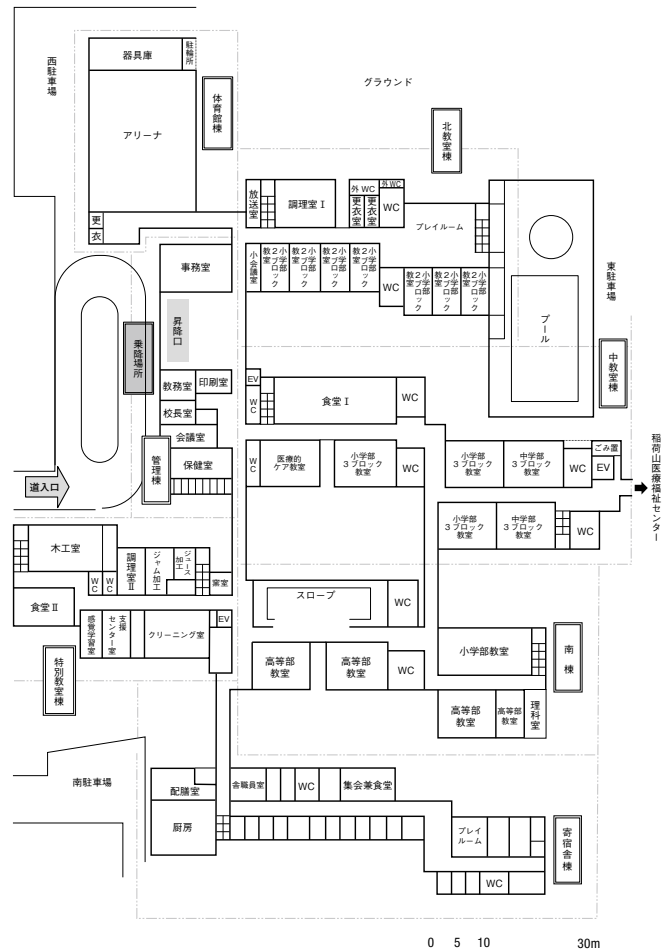


校舎は木造とし、県内産のカラマツをふだんに使用した

### ■ 配置図

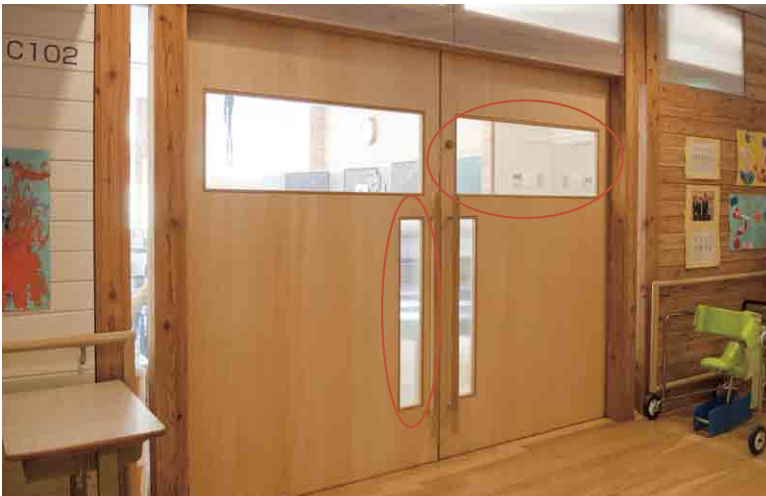


### ■ 平面図(1階)



学習・生活空間の充実

▶▶ 木造の広々とした校舎に施された施設の工夫



① 普通教室のドアは開口部2.7mの両開きで、車いすが余裕を持ってすれ違うことができる。取っ手の横には衝突防止のために透明なアクリル板を設置している。また、児童生徒の注意をそらすことなく教室の中の様子を見ることができるように、大人の目の高さにもアクリル板を設置している。



② 廊下に設置されたパネルヒーターの目隠しはベンチとして活用している。活動における待機の場所や、児童生徒の交流の場になっている。



③ 廊下の壁は展示スペースとして活用することができる。児童生徒の作品や活動の写真を、車いすの児童生徒の目の高さに掲示し、日々の活動を振り返る機会を作っている。



④ 枝を組み合わせたような吹き抜きの天井は、森の中にいるような雰囲気を感じることができる。



⑤ 昇降口にはベンチが設置されている。教職員や保護者が隣に座り、児童生徒の靴の脱ぎ履きの支援を容易に行うことができる。



⑥ 歩行の練習のため、一人が上り下りする幅に、手すりが設置された階段が整備されている。



⑦ 教室表示は、棟の色とマークに対応していて、場所を認識する助けとなっている。

施設全体の特徴

長野県稲荷山養護学校は、児童生徒の個々の教育的ニーズに応じて、小学部・中学部では3つの「ブロック」、高等部では3つの「コース」を設けて、教育課程を編成しており、校舎の配置やゾーニングはブロック、コースに対応した計画となっている。また、各室の設計は各ブロック、コースにふさわしいものとしており、例えば移動に全介助が必要な児童生徒を

含むブロック(名称は「3ブロック」という)の教室には床暖房が設置されている。

県内産のカラマツを用いた木造校舎はゆったりとした造りで、ベンチやロッカーなどの造作家具や室名札を、児童生徒の特性に配慮して整備している。

ゆったりと温かみのある空間

全体が木材で建築された温かみのある校舎は、児童生徒が快適に過ごせる、

ゆったりとした造りになっている。

普通教室のドアは開口部が2.7mある両開きで、車いすが余裕を持ってすれ違うことができるようになっている。児童生徒同士の衝突を防止するために、取っ手の横には、向こう側が見えるよう透明なアクリル板を設置している。また、児童生徒の注意をそらすことなく教職員等が教室の様子を見ることができるよう、大人の目の高さにも同じくアクリル板を設置している(①)。

視覚障害に対応した施設

聴覚障害に対応した施設

知的障害に対応した施設

肢体不自由に対応した施設

病弱に対応した施設

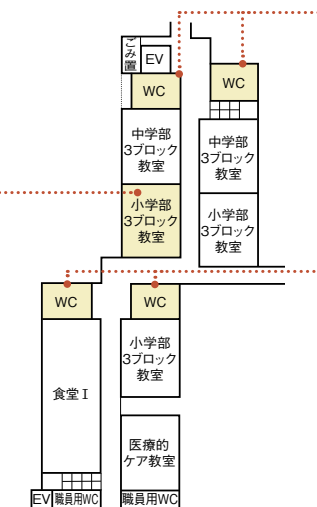


## 学習・生活空間の充実

## ▶▶ 教室・トイレなど、良好な生活空間



⑧ 3ブロックの児童生徒が使用する教室は、車いすでの活動を考慮し通常の2倍の広さを確保している。また、床暖房や吊り遊具設置のための金具も整備されている。



⑨ トイレは、オストメイト用便器、幼児用便器など、数種類の便器が一箇所にそろっており、介助用のベッド等も備えられている。また、入口はカーテンではなく、引き戸になっている。

## 企業等との連携による職業教育の充実等に資する空間の整備

## ▶▶ 生徒の社会的自立を支援する作業関係諸室



⑩ クリーニング室には、業務用の洗濯機材のほか、接客カウンターも設置しており、クリーニング店の業務を一通り実践することができる。水の使用を考慮して、床は防水の仕様になっている。



⑪ 木工室にも、工場で使用されているような木材加工機器が設置されている。安全面に配慮して機械同士の距離を長く取れるように広い床面積が確保されている。



廊下に設置されたパネルヒーターの目隠しは、ベンチとして使用され、活動における待機の場所や、児童生徒の交流の場になっている(②)。廊下の壁は広く、展示のスペースとして活用することができる。児童生徒の作品や、活動の写真を、車いすの児童生徒の目の高さに掲示し、日々の活動を振り返る機会を作っている(③)。枝を組み合わせたような吹き抜けの天井は、森の中にいるような雰囲気を楽しむことができる(④)。

## | 児童生徒の活動を支援する工夫

児童生徒が靴を脱ぎ履きしやすいよう、昇降口の靴箱の前にはベンチが設置されている。保護者や教職員による靴の脱ぎ履きの支援も容易に行うことができる(⑤)。歩行の練習のために、一人が上り下りする幅に手すりを設置した階段を設けている(⑥)。

教室表示は、その部屋がある棟の色とマークに対応して設置されており、広い校舎内において、自分のいる場所を認識する助けとなっている(⑦)。

## | 重度の障害のある児童生徒の活動に配慮した教室

3ブロックの児童生徒が使用する普通教室は、車いすでの活動が多いことなどを考慮して、他のブロックの児童生徒が使用する教室の2倍の広さが確保されている。また、車いすから降りてリラックスする活動が冬場も快適に行えるよう、床暖房も設置されている。また、天井には、吊り遊具を設置するための金具が整備されている(⑧)。

## 環境面への配慮

## ▶▶ 自然エネルギーの活用と配慮した施設



⑫ 自然エネルギー活用推進の一環として、木質ペレットを使用したペレットストーブを利用しており、柵で囲むことによって安全に配慮している。



⑬ 屋根に設置された太陽光パネル、発電容量は10kW。

視覚障害に対応した施設

聴覚障害に対応した施設

知的障害に対応した施設

肢体不自由に対応した施設

病弱に対応した施設

### プライバシーにも配慮されたトイレ

トイレは、オストメイト用便器、幼児用便器など、数種類の便器がそろっており、介助の程度や体格等の違いによって使い分けることができる。おむつ等の備品を置く柵や介助用のベッドも設置されている。入口はカーテンではなく引き戸になっており、児童生徒のプライバシーにも配慮されている(⑨)。

### 社会的自立を支援する作業関係諸室の整備

高等部の生徒の卒業後の社会的自立を支援するため、職業教育を行う作業関係諸室(クリーニング室、木工室、パン工房等)を整備している。クリーニング室には、業務用の洗濯機材のほか、接客カウンターも設置しており、クリーニング店の業務を一通り実践することができる。水の使用を考慮して、床は防水の仕上げにしている(⑩)。木工室にも、工房で使用されているような木材加工機器が設置されている。安全面に配慮して機械同士の距離を長く取るように

広い床面積が確保されている。製作したいすやハンガーラックなどは校内に展示され、地域の学校の文化祭等での販売も行われる(⑪)。

### 自然エネルギーの活用と省エネ

校内の暖房には、都市ガスを利用したボイラー3基のほかに、木質ペレットを使用するペレットボイラー1基、ペレットストーブ6台を使い分け、自然エネルギーの活用と省エネルギーに努めている(⑫)。また、環境教育に活用できる太陽光発電システムも導入している(⑬)。

#### 学校から

温かみのある木造の校舎によって、知的障害と肢体不自由の児童生徒が行動を共にし、児童生徒の笑顔があふれる学びの場ができました。障害の種別を超えて、互いに刺激し合い学び合う環境を作ることは可能だと実感しています。今後も「子ども第一」をモットーに、熱意を持って教育内容の充実にも努めたいと考えています。

#### 検討委員会から

地域の木材(カラマツ)を使用した学校建築そのものから、児童生徒はたくさんのことを学ぶことができる。例えば、木材の温かさ・柔らかさ、香り、手触り、足音の響きなど、五感を磨く環境があるといったことである。県内の木材の産地、体育館の太い梁等の来歴、森の恵みや自然への関心も高めることができる。地域の木材を使い、地域に根付いた、地域の誇りとなる学校である。